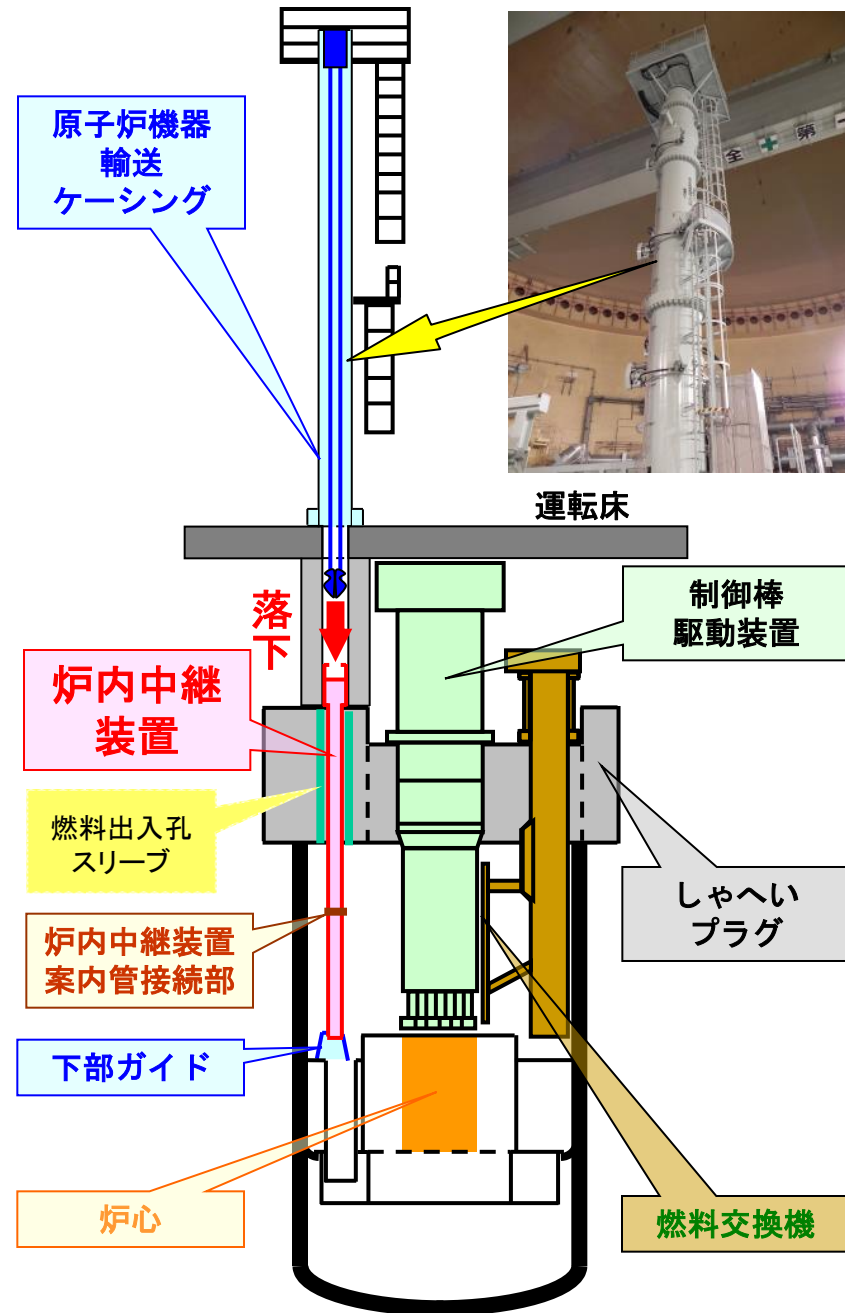


高速増殖原型炉「もんじゅ」の現況について

＜炉内中継装置の引抜き作業＞

平成23年10月31日
独立行政法人 日本原子力研究開発機構



(平成22年)

8月26日 : 燃料交換の後片付け作業中、約2m吊り上げた炉内中継装置(約3.3トン、全長:約12m)が落下。

12月16日 : 性能試験工程と炉内中継装置の復旧作業を公表。

(平成23年)

5月16日 : 引抜きに係わる仮設機器・治工具類のサイト搬入開始。

5月24日 : 引抜きに向けた作業の開始。

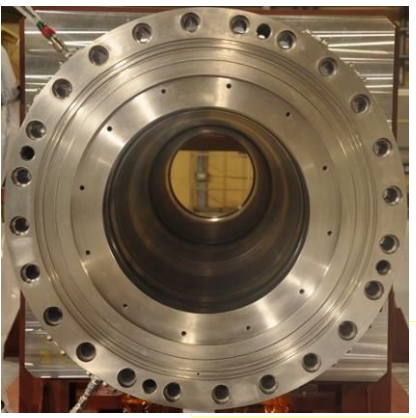
6月24日 : 炉内中継装置と燃料出入孔スリーブの一体引抜き作業の完了。

7月12日 : 炉内中継装置分解点検終了。

(炉内中継装置を構成する全ての部品について、炉内への部品脱落はないことを確認)

8月29日 : 燃料出入孔スリーブ等復旧作業開始。

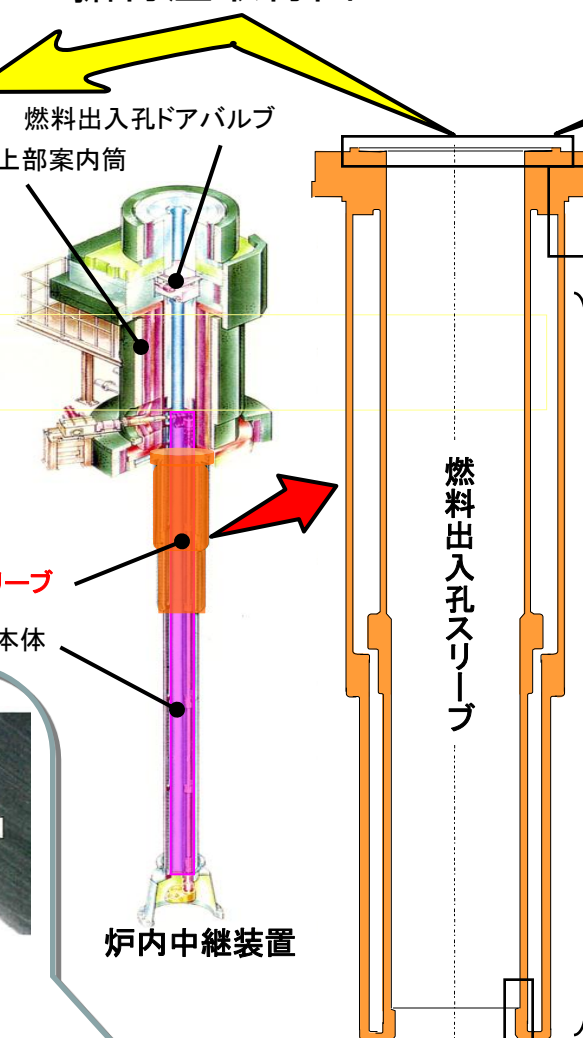
10月31日(現在) : 燃料出入孔スリーブ等復旧作業中。



据付座取付け面及びシール面には性能・機能に影響を与える、傷、変形等は認められなかった。

据付座取付け面

燃料出入孔ドアバルブ
上部案内筒



燃料出入孔スリーブ

炉内中継装置本体

炉内中継装置

燃料出入孔スリーブ

据付座取付け面

シール面

シール面の状況

フランジ(下部)シール面には性能・機能に影響を与える、傷、変形等は認められなかった。

フランジ(上部)シール面には性能・機能に影響を与える、傷、変形等は認められなかった。

シール面

内外表面の異常(傷、変形、磨耗等)は認められなかった。

外観点検、寸法測定、耐圧漏えい試験、非破壊試験等により健全性確認を行った結果、異常な変形や欠陥がないことを確認した。

折動部

折動部で確認された圧痕(代表例)

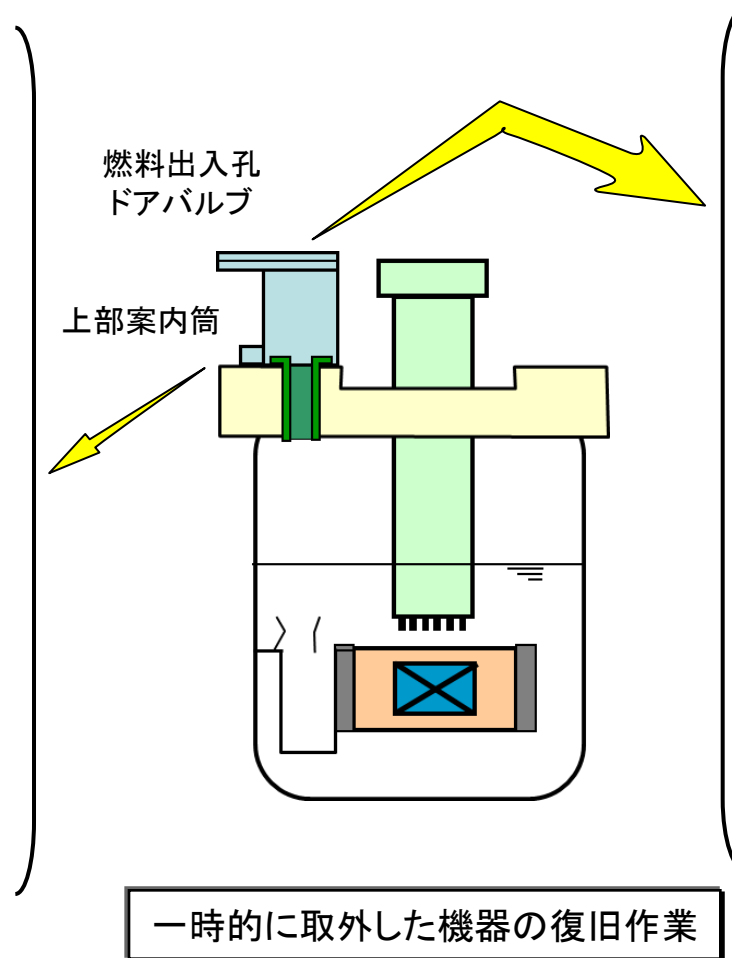
IVTM本体を単独で引上げる際に案内管接続部の接続ピンと接触して付いたものと想定される圧痕が確認できた。出っ張りはないためIVTM本体の挿入性と水平方向のガイド機能に影響はない。



上部案内筒吊りこみ作業



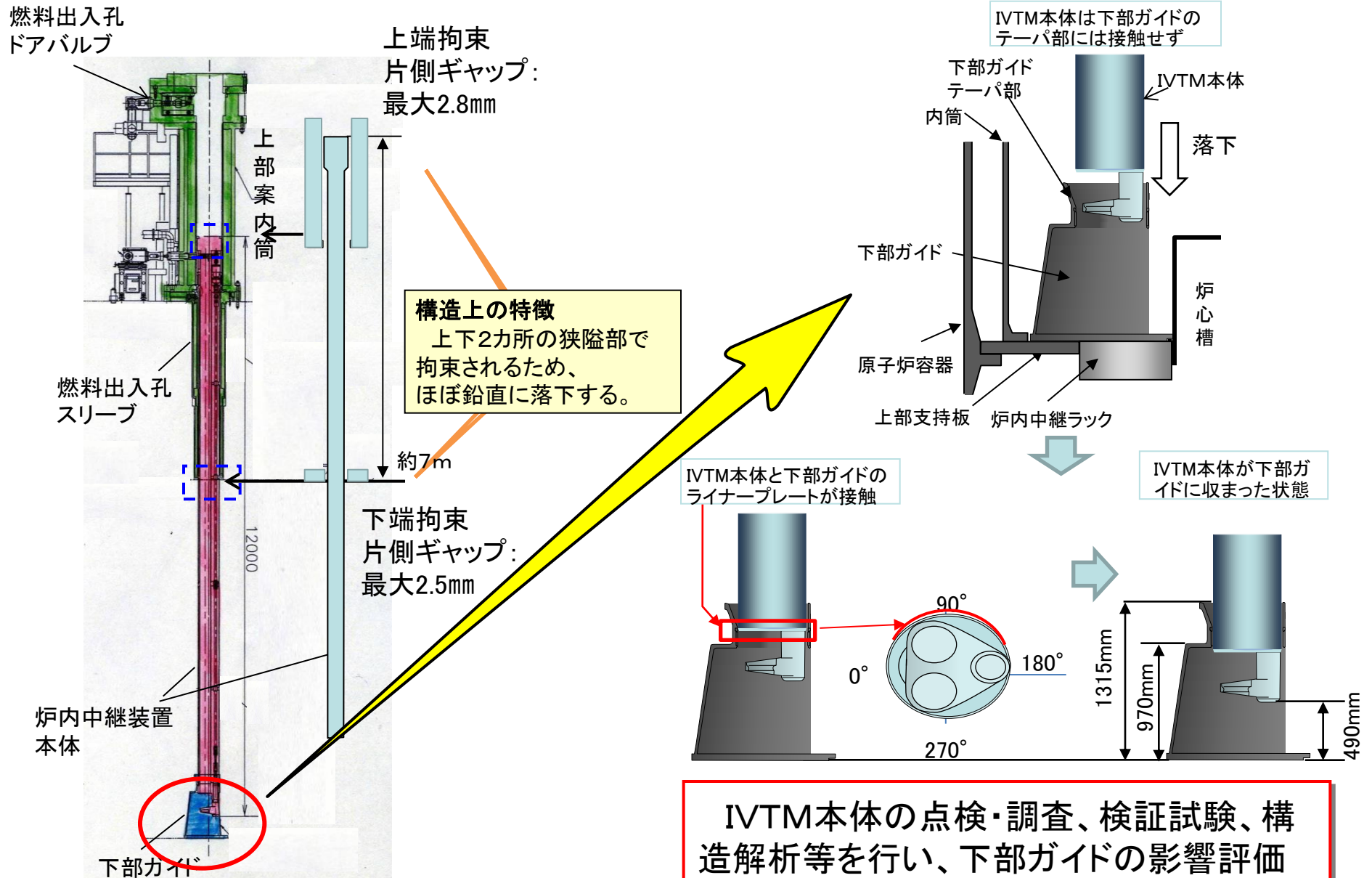
上部案内筒据付状況



上部案内筒への燃料出入孔ドアバルブ取付け作業



燃料出入孔ドアバルブ取付ボルト締結作業



IVTM本体の点検・調査、検証試験、構造解析等を行い、下部ガイドの影響評価について確認中。